

令和6年度 第1回 日本救急医学会 男女共同参画推進委員会議事録

2024年01月29日 15時から16時 Web開催（Zoom使用）

参加者（敬称略）

司会（委員長）：山口順子（日本大学板橋）

委員：奥田裕子（さいたま赤十字病院）、岡田遥平（国立シンガポール大学 Duke-NUS Medical School）、川原加苗（鹿児島市立病院）、佐藤信宏（新潟市民）、七戸康夫（北海道医療センター）、中本礼良（東京女子医大）、番匠谷友紀（但馬救命）、新井晶子（筑波メディカルセンター病院）、宮崎麻里（関西医科大学）、森川美樹（順天堂大学医学部附属浦安病院）、山岡由季（但馬救命）

担当理事：横堀将司（日本医科大学）

報告事項

1. 新規委員ご紹介（資料1）

⇒新規委員の先生方よりご挨拶いただきました。

2. 第51回日本救急医学会総会・学術総会について（パネルディスカッション、ラウンジの件の振り返り（アンケート含む）等）

委員よりご意見

・ラウンジで閲覧可能としたキャリアスライドを総会以外でも閲覧可能とすることを検討することが望ましい。

⇒どのWebsiteで閲覧可能とするかについては、「救急医をめざす君へ」の掲載による効果的な周知方法あるいは、掲載場所について、すでにあるキャリア報告ページに結合させるなど、具体的に萩原委員ともご相談して素案を作成。掲載可能かのご許可については、ご提供くださった先生へお諮りすることに。

・より子供づれで参加しやすい学会とできるように働きかけが望ましい。

⇒エクセルでの委員会企画提出の際に、要望をコメントに記載することに。

審議事項

1. 第52回日本救急医学会総会委員会企画について

資料3に加えて窪田先生からお預かりした内容（キャリアの継続に必要な利用できる支援について）の紹介の話題を含め、ご参加いただきました各委員よりご意見を承った。

事前にご意見をいただいた内容の他、委員会では以下のような内容の議論があった。

・男女共同参画推進をするために必要なマネジメントについて取りあげることが必要ではないか。

- ・本委員会で取り扱う範囲が非常に広く、どの部分に焦点をあてていくのか。
- ・学会としてのこれからの方向性、具体的な目標はどこか。
- ・シフトチェンジの経験を聴けることも必要ではないか。
- ・集中治療医学会のダイバーシティ委員会でも働き方改革の取り組みは紹介されているが、救急医の当直、夜勤との違いもあり、必ずしも、同じように参照はできない。
- ・海外や他の組織における取り組みについて事例報告していただくのはどうか。
- ・次回総会においてはダイバーシティへの取り組みについてTFが設置され、男女共同参画推進の取り組みについてはこちらでもセッションに組み込まれていく予定である。

2. その他

- ・第17回性差医療学会シンポジウムでの発表を山口が行ったことについて概要報告。女性の上位職、リーダー職への登用という点については、外科領域系で登用が多く進んでいる状況がうかがえる。2022年の時点で基本領域診療科学会では女性理事不在の学会は無くなった。学会女性会員の座長候補者リストの作成や論文執筆、研究活動への支援策を女性、若手に向けて設けている学会がある。いずれの学会もダイバーシティインクルージョンを進める動きがある。